

## 4 調査に関するQ & A

---

### (1) 調査について

#### 【Q1】

従来の調査と県学力・学習状況調査とは何が違うのですか。

#### 【A1】

従来の調査は、学力を正答率で表すことが多く、調査年度の児童生徒の学力の現状を把握することには適していますが、実施年度が異なる調査の結果を比較しにくいという課題があります。

そこで、県学力・学習状況調査では、問題の難易度を考慮に入れて学力を測定する、つまり、「どれくらい難しい問題に正答できたか」という視点を加え、小学校4年生から、中学3年生まで、児童生徒の学力が伸びていく様子をより明確に示すことができるようになっていきます。

### (2) 個人結果票の見方について

#### 【Q2】

同じ正答率の場合、同じ学力のレベルになるのですか。

#### 【A2】

同じ学力のレベルにならない場合もあります。

県学力・学習状況調査の問題は、正答率が高いか低いかではなく、どの程度難しい問題に正答できたかでレベルが決まります。

例えば、AとBの児童生徒が同じ10問を解答した場合に、Aが一番簡単な問題を1問間違えて、残りは全て正答し、Bが一番難しい問題を1問間違えたとします。この場合、正答率で考えると、AとBの学力はいずれも90%で同じということになりますが、本調査においては、より難しい問題に正答できているAの学力のレベルの方が高くなります。

**【Q3】**

学力のレベル7で考えた場合、小学校4年生の学力レベル7の児童と、中学校1年生の学力レベル7の生徒の学力は、同じと考えてよいのでしょうか。

**【A3】**

県学力・学習状況調査の学力のレベルについては、学力のレベルが上がるほど難しい問題を解く力があると考えています。小学校4年生のレベル7と中学校1年生のレベル7では、正答できる問題の難易度は同じです。

ただし、小学校4年生の学力のレベル7の児童が中1のレベル7の問題を解けるかという、解けない可能性が高いです。これは、学習指導要領により学習内容が定められているため、中学校1年生のレベル7の問題を小4の児童はまだ学習していないためです。

**【Q4】**

学年の中で、レベルの数値が1上がると、該当学年内でのレベル数値は低くても「大きな伸びが見られた」とコメントされていますが、なぜですか。

**【A4】**

本調査では、どの学力のレベルの中でも、数値が伸びているのであれば、子供一人一人に伸びを実感させ、自信を持たせることが重要と考えています。

そのため、昨年度の自分と比較して1レベル難易度の高い問題を解けるようになったことを「大きな伸び」と捉えてコメントしています。

**【Q5】**

中学校2年生での学力のレベルが5（中学校2年生の中では一番低い学力レベル）の場合、学力のレベル5より下の学力レベルにはつけられない状態になっています。この場合の学力レベルは、どのような基準でつけているのですか。

**【A5】**

中学2年生の調査において学力を測定できる問題の範囲はレベル5からレベル11と設定しています。レベル5の問題に1問でも正答していれば、レベル5の学力がある可能性があるため、レベル5に位置付けられるようになっています。この場合、レベル5を明らかに下回るのは、正答数が0問の場合であり、その場合は、レベル自体も表示されないこととしています。

**【Q6】**

個人結果票は、絶対評価、相対評価どちらで示されているのですか。

**【A6】**

「今までの学力の変化」については、絶対的な位置を示しています。

「県全体の正答率分布」については、県全体の中でどのくらいの位置にいるのかが分かるように、参考として記載しています。こちらは、児童生徒の県全体における相対的な位置を示しています。

### 国語

教科に関する調査結果

**今までの学力の変化**  
本年度の調査を受けていないため、今回の学力のレベルは表示できません。

学年	国語	今までの学力のレベル				
		レベル10	レベル9	レベル8	レベル7	レベル6
1	国語					
2	国語					
3	国語					
4	国語					
5	国語					
6	国語					
7	国語					
8	国語					
9	国語					
10	国語					

**学習に関するアドバイス**  
本年度の調査を受けていないため、今回の学力の状況については、記載できません。今後、日々の授業を大切に、継続的に学習に取り組むことで、学力を伸ばすことができます。

### 数学

**今までの学力の変化**  
あなたの学力は、「レベル10」の中で伸びがありました。

学年	数学	今までの学力のレベル				
		レベル10	レベル9	レベル8	レベル7	レベル6
1	数学					
2	数学					
3	数学					
4	数学					
5	数学					
6	数学					
7	数学					
8	数学					
9	数学					
10	数学					

**学習に関するアドバイス**  
あなたの数学の学力は、昨年度1年間の学習により、着実に伸びています。自分の学力に自信を持ち、今後も学習に取り組んでいきましょう。授業への取り組み方や学習習慣を見直し、改善することで、さらに大きく伸びることが期待できます。図形は、大変よくできました。図形の学習は、平行線の性質など今まで学習した性質を使い、いろいろな図形から考えることが大切です。3年生では相似図形の学習があるので、図の中に含まれるいくつかの性質を明確にさせ考えを深めましょう。また、関数の学習は、式から点を求めたり、式をグラフに書いたりする問題ができるようになることが大切です。3年生では数値関数の学習があるので、分かっていることを、式・表・グラフと関連させ、ていねいに取り組ましましょう。今回のあなたの学力レベルを参考に、ホームページの「学習シート」を活用して、さらに自分の力を高めましょう。

### 英語

**今までの学力の変化**  
あなたは、「レベル8」の学力があります。

学年	英語	今までの学力のレベル				
		レベル10	レベル9	レベル8	レベル7	レベル6
1	英語					
2	英語					
3	英語					
4	英語					
5	英語					
6	英語					
7	英語					
8	英語					
9	英語					
10	英語					

**学習に関するアドバイス**  
昨年度1年間の授業への取り組み方や学習習慣、生活習慣などについて、がんばったことや得意などを振り返り、整理してみましょう。それらを基盤とし、改善することで、学力が伸びることが期待できます。必要に応じて、学校の先生やご家族の方と相談してみるのもよいでしょう。聞くことは、他の学習に比べて、よくできましたさらに能力を伸ばすために、教科書の本文を繰り返し読んでみたり、単語や熟語の本を繰り返し読んで、今までより高い文章を読むことに挑戦してみましょう。英文読解の問題に取り組むことも効果的です。また、聞くことの学習については、英語の音に慣れるために、授業では先生やALTの先生の声、友達の声や集中して聞くように意識したり、教科書の本文を先生や友達の読ませながら練習しましょう。家庭では、英語の音に慣れるように音読練習をしましょう。特に教科書の基本文については、くり返し練習しましょう。今回のあなたの学力レベルを参考に、ホームページの「学習シート」を活用して、さらに自分の力を高めましょう。

**教科の領域別正答率**

教科	正答率	県平均	あなた	
国語	4	4	60.0	
算数	3	10	60.0	
理科	3	18	60.0	
総合	22	30	73.3	60.0

**県全体の正答率分布**

あなたの正答率は県平均の正答率分布の [ ] に表れています。

**教科の領域別正答率**

教科	正答率	県平均	あなた	
国語	8	14	60.0	
算数	6	8	60.0	
理科	7	5	67.5	
総合	1	4	20.0	60.0

**県全体の正答率分布**

あなたの正答率は、県全体の正答率分布の [ ] に表れています。

**教科の領域別正答率**

教科	正答率	県平均	あなた
国語	3	10	100.0
算数	12	23	62.1
理科	10	7	60.0
総合	25	40	60.0

**県全体の正答率分布**

あなたの正答率は、県全体の正答率分布の [ ] に表れています。

絶対評価

相対評価

### (3) 個人結果票の返却について

#### 【Q7】

個人結果票を児童生徒に返却する際、どんなことを伝えればよいですか。

#### 【A7】

本調査は、過去の自分の学力と現在の学力を比較できる設計となっています。

学力の変化の状況により、教員や保護者から、一人一人の児童生徒に適切な働きかけを行うことにより、今後の学力向上につなげていただきたいと考えています。学力が伸びた児童生徒に対しては、1年間の頑張りを認めたり、褒めたりすることで、自信を持たせてください。

また、学力が伸びていない児童生徒に対しては、教員と教育相談などを行うことで、つまずきや悩み等を共有し、児童生徒の取組について丁寧な見取りなどを行うことで、今後の学力向上につなげてください。

児童生徒の解答状況については、「教科の領域別正答率」の数値やレーダーチャートを参考にしてください。具体的問題については、本調査の設計上非公表となっていますが、県ホームページ上に「問題概要」や「復習シート」(類似問題)を掲載しているので、それらも活用してください。

## (4) 結果帳票について

### 【Q8】

帳票の「26\_学力の伸びの状況」の見方についてです。線の傾きは何を表していますか。

### 【A8】

この帳票では、同じ学年の集団の中で、特定の位置にいる児童生徒（最大値に位置する児童生徒、75%値に位置する児童生徒、中央値に位置する児童生徒、25%値に位置する児童生徒、最小値に位置する児童生徒）の前年度と今年度の学力を示しています。

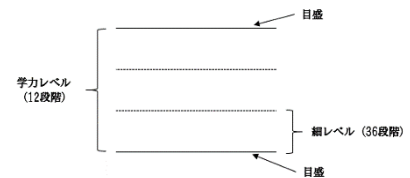
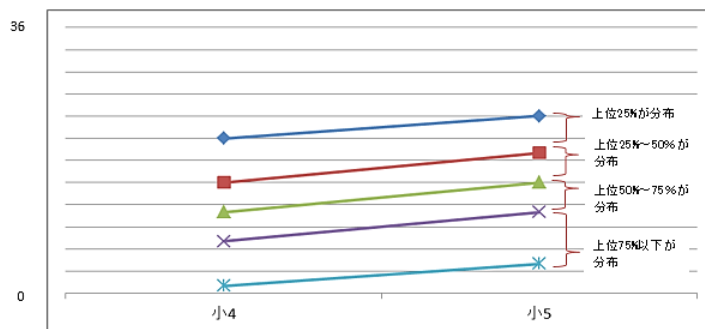
前年度のそれぞれの位置を、今年度と比べることによって、この集団の学力分布の変化が分かります。

### 【グラフの見方】

グラフの縦軸は、学力のレベルを表しています。

目盛りは、個人結果票の学力のレベル（12段階）を表しています。

目盛りと目盛りの間は、それぞれ3段階に分かれています。



- ◆ ⇒ 最大値(最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル)
- ⇒ 75%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- ▲ ⇒ 中央値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- × ⇒ 25%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- \* ⇒ 最小値(最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル)

### 【活用の仕方 (例)】

どの分布も右肩上がり	傾きにばらつき①	傾きにばらつき②
上位層、中位層、下位層の、いずれの層の児童生徒も学力を伸ばしている。	上位層に伸びは見られないが、中位層、下位層の児童生徒の学力は伸びている。	上位層は伸びているが、中位層にほとんど変化はなく、下位層の学力は下がっている。

線の傾きのパターンによって、それぞれの層に分布する児童生徒の状況が分かるので、前年度の指導効果を考える参考にしてください。